

熊本県における花き需要拡大対策実施レポート

熊本県花き協会では、令和4年度において、県産花きの需要拡大に向けて、次の事業に取り組みました。

1 流通消費対策事業

(1) 県外向け販路拡大活動

需要に即した県産花きの安定供給に努め、ニーズを捉えた消費提案や産地情報の発信により、消費者の認知度を高め、県産花きの拡大を図った。

- ・県産花きの認知度向上と消費拡大を目的とした消費宣伝の実施（県外での県産花きの展示や販促活動など）

(2) くまもとの花消費拡大推進活動

① 花育活動の実施

- ・熊本の魅力あふれる花の周知、振興活動を目的とし「子供たちに生命の大切さや自然環境を思いやる心」「美しいと感じる心を育てること」「熊本県産の花に接する機会をつくること」等を目的とした出張フラワーアレンジメント教室の実施

実績：11校、396名



② 「サン・ジョルディの日」PRイベントの実施

- ・男性から女性へ「花」を、女性から男性へ「本」を贈る、スペインの風習で、県産の花と本に親しむ新たな取組みとし、この記念日を広めるPR活動の実施。

(ア) フラワーアレンジメント作成ワークショップ

期日：令和4年4月16日（土）

場所：蔦屋書店三年坂

内容：蔦屋書店三年坂において書籍を購入された男性、ご夫婦、カップルの方先着20名様へBOXフラワー作成のワークショップを開催。



(イ) 書店の生花装飾によるPR

期日：令和4年4月19日（火）～23日（土）

場所：長崎書店、金龍堂まるぶん書店

内容：書店における県産花きを使用した装飾の実施。



(ウ) 書籍購入者への生花プレゼント

(a) 期日：令和4年4月15日（金）～17日（日）

場所：蔦屋書店三年坂

内容：書籍をプレゼント用に購入された方へお花のプレゼント（1日先着20名）の実施。

(b) 期日：令和4年4月23日（土）

場所：県内の書店 22店舗

内容：「サンジョルディの日」当日に書籍を購入された方へお花のプレゼント（数量限定）の実施。

③ 企業向け「花の定期便」実証拡大

- ・「花のある暮らし」の実現及び花の消費拡大に繋げるため、県産花きの利用の定着に向けた装飾や、おうち時間を彩る花の定期購入の取組みを実施。

花に対する興味・関心を高める機会として、花の基本管理を学ぶワークショップを組み合わせる実施。

期間：令和4年12月～令和5年2月

内容：企業等における定期的な花きの装飾展示（2社）



2 ジャパンフラワー強化プロジェクト推進

(1) 消費拡大プロモーション

- ① 中心商店街において花に触れることで、ひと時の癒しを感じるとともに、県産花きのアレンジメント制作を体験し、家庭で花を楽しむことにより、新たな需要を発掘した。

期間：令和4年10月29日（土）～30日（日）

実績：400名

成果：アンケートの結果、89%の参加者が自分で好きな花を買ってアレンジを作りたいと回答。

「花をもっとよく知りたい、興味を持った」、「日頃、花に触れる機会がなく、貴重な体験だった」、「敷居が高いイメージだったが、手軽に体験できてよかった」、「リフレッシュでき、心が落ち着いた」などの意見が寄せられた。



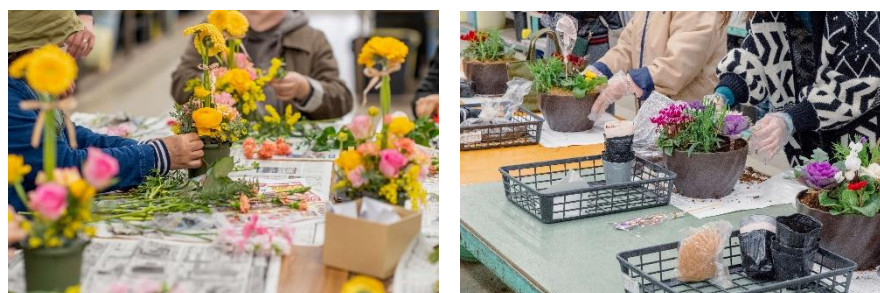
- ②花市場で毎月開催されているマルシェにおいて、フラワーアレンジメント教室や寄せ植え教室を開催し、花きの家庭内需要の拡大、日常生活への定着に向けた普及促進を図った。

期間：令和4年4月～令和5年3月の第3土曜日

実績：フラワーアレンジメント教室 計320名（12ヶ月合計）

寄せ植え教室 計80名（11月及び12月合計）

成果：アンケートの結果、89.6%が楽しかった・面白かった、95.9%が自分でお花を買ってアレンジや寄せ植えをやりたいと回答した。参加者からは、「親子で楽しめた」、「リフレッシュできた」、「家でも花を楽しむ機会を増やしたい」などの意見が寄せられた。



(2) 花育体験の実施

① 小中高校生等を対象に戦略品目の県産花きを用いた花育教室を行い、若年層の新規需要の創出を目指した。

(ア) 近隣の小・中学校、特別支援学校の児童・生徒を対象にフラワーアレンジ教室の実施

実績：325名



(イ) 小学生や高校生を県内市場に招き、フラワーアレンジ体験やフラワーコンテストの実施

実績：152名



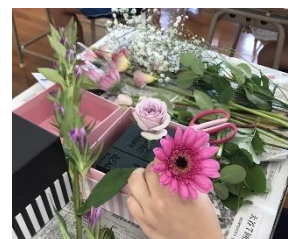
(ウ) 新成人となる専門学校・大学等の学生を対象に保護者へのフラワーアレンジ作成

実績：231名



(エ) 小中高生を対象に、福祉施設や仮設住宅等の入居者等へのフラワーアレンジ作成

実績：329名



(オ) 高校生を対象に、苗ものの寄せ植え教室の実施

実績：100名



成果：保護者に対する花きの購入頻度に関するアンケートの結果、花育体験後の花き購入が増えた家庭は18.2%。また、今後花きの購入を増やしたい家庭は67.4%。参加者（児童・生徒等）からは「花に興味があった」、「自宅でもやってみたい」、「家族も喜んでくれた」、保護者からは「家が明るくなった」、「癒された」、「会話が増えた」などの意見が寄せられた。

② 小学校で育てた花苗を学校周辺施設や地域で管理している花壇等へ受渡し、地域の緑化活動の促進に繋げた。

実績：熊本市各区 1 校ずつ 計 5 校

成果：参加した児童のうち、79.1%が楽しかった、65.9%が学校や家庭で花を育ててみたいと回答した。また、参加した児童からは「花の成長を見られて良かった」、「緑化に興味を持った」、「地域の方に笑顔になってもらいたい」、花のリレー先団体からは「外出が少なく、介護が必要なお年寄りに嬉しいプレゼントになった」、「良い交流の機会になった」などの意見が寄せられた。



その他にも、県産花きの情報などを発信しています！
熊本県花き協会公式Instagram
(@kakikyokai_kumamoto) はこちら 